

2022

# オンラインワークショップ報告書

アフリカ布がわかる（タンザニアバティック編）

アフリカ理解プロジェクト

2022 年 3 月 27 日



タンザニアがんばる生産者を応援！

特典付き！アフリカ布がわかる（タンザニアバティック編）

## オンライン・ワークショップ 報告書

コロナ禍で収入減の現地生産者を支援

ダルエス・サラームからライブ中継

日時： 2022 年 3 月 27 日（日） 16：00～17：00 日本/ 10:00～11：00 タンザニア

中継地：タンザニア・ダルエスサラームティンガティンガ村/ オンライン開催（ZOOM）

参加人数：40 名



### 《プログラム》

- スライド/日本

アフリカの布がわかる –多様なアフリカのテキスタイル–

アフリカ布の種類、アフリカ布の使い方、2つの民族布（特徴・使い方・日本とのつながり）アフリカの布の魅力とは？

- スライド/タンザニア –タンザニアのバティックができるまで–

タンザニア概要、タンザニアの人気のアフリカ布（カンガ、キテンゲ、バティック）、バティック製作女性

グループ、バティックができるまで、現状と課題

- **動画/タンザニア**

ダルエスサラーム市内、アフリカンファッションとヘアー、バティック製作風景（各工程）、マーケットでの販売の様子、縫製やテーラーたちの様子

- **ライブ中継でレクチャー/タンザニア**

アフリカ布の使い方を現地の人にライブで教えてもらう

- **ライブ中継で交流/タンザニア**

参加者からの質問を通して現地のテーラーさんと交流

- **参加者とのフリートーク（希望者のみ）**

## アフリカ理解プロジェクト（ARP）あいさつ



アフリカとライブでつなぐワークショップ、今回の舞台もタンザニアです。テーマは《アフリカ布がわかる～タンザニアバティック編～》本日は定員を超える 40 人が参加されています。

現地とつなぐ前に、「アフリカの布の基礎知識」を駆け足で ARP の白鳥くるみが説明。

### 《主な内容》

アフリカ大陸には、多様な布があります。「パーニュ」はアフリカンワックスプリント・キテンゲやチテンゲとも呼ばれますが、ここでは現地で使われるパーニュという言葉を使います。この「パーニュ」や「カンガ」のように世界的に知られる民族布から古い歴史をもつ「絞り染め」や「ろうけつ染め」まで様々です。ブリティッシュ・ミュージアムには、4500 種類ものアフリカの布（テキスタイル）が所蔵されています。この多様な布を《アフリカ布の種類、アフリカ布の使い方、2つの民族布（特徴・使い方・日本とのつながり）、アフリカの布の魅力とは？》について解説。



アフリカの布には、アフリカの国々の歴史や文化、また植民地化が大きくかかわっています。アフリカの人たちにとって民族布やファッションは、装飾や実用性だけでなく、「文化、宗教、考えや主張、エンパワメント、つながり、アイデンティティ」を表すことがあります。アフリカの布やファッションは「多様であり」、装飾や実用性だけではない「メッセージを発する布」です。こんなところも魅力のひとつだと思います。



## タンザニアとライブ中継



会場はダルエス・サラームのティンガティンガ村です。今日は雨もよう、タンザニアはもうすぐ雨季が始まります。まずは自己紹介！お手製のバティックドレスのマリアナさん（マテレカン工房テーラー）、そしてお気に入りのキテンゲドレスのダイアナさん（ティンガティンガアーティスト）。二人ともドレスがとても似合っています！ 前回ティンガティンガアートで講師を務めてくれたライモンドさんも協力してくれています。

ライブ中継はハプニングがつきものです。途中で途切れてしまうのではないかといつも冷や冷やしますが、タンザニアとの通信は、今回も良好のようです。ハプニングも含めて、参加者のみなさん楽しんでくださいね。

自己紹介が終わったところで、ここからはタンザニア在住のサポーターが、「タンザニア概要、人気のアフリカ布（カンガ、キテンゲ、バティック）、バティック製作女性グループ、バティック製作から～販売まで、現状と課題」をスライドで説明。つづけて動画でアフリカンファッションとヘアー、バティック製作の各工程、マーケットでの販売、縫製とテーラーたちの様子を紹介しました。



※今回の撮影もコロナ禍で収入減になったカメラマンに撮影を依頼しました。またバティックの製作工程は撮影禁止となっていますが、今回キガンボニ女性協同組合から、特別許可をいただき撮影することができました。





バティックができるまでには、複数の工程が必要です。たくさんの工程があるバティック製作は、更に昔ながらの天日干しのため、天候に左右されること、一点一点手作業のため同じ色・デザインの再現が難しいという課題もあります。また、中国業者の台頭も迫っています。タンザニアの人たちは、色使いで、原産地を見分けられるようで、ナイジェリア産など、アフリカ産を好んで購入する傾向があります。



染料の使用は、SDGs の観点からすると、ファッション業界全体で改善すべき課題があると思います。ですが、アフリカでは、必要な洋服を必要なだけ作るオーダーメイドの文化が浸透しており、気に入ったものを大切に使うアフリカの文化にはよいところも多くあります。生産者、消費者として、作る責任、使う責任がありますが、まずは、このように商品の製作工程や背景にあるストーリーを知ることから、支援・改善につなげていきたいと思っています。

### タンザニアとライブ中継

今日は盛りだくさんのプログラムが用意されています。このコーナーでは人気の着方、ヘッドスカーフの巻き方、負ぶい方など、「アフリカ布の使い方」をマリアナさんとダイアナさんにライブで教えてもらいました。



参加者のみなさん画面に見入っていました。2人のユーモアあふれる実演に笑顔が広がりました。



### ライブ中継で交流

ここからは、参加者からの質問を通した交流の時間です。

参加者全員にあらかじめ送ったバティック柄の手縫いマルシェバック。これを製作したマテレカン工房のマリアナさんへ質問をしながら交流しました。

・伊藤さん

Q:柄や色の使い分けがありますか？

A:タンザニアはオーダーメイドで服をつくるので、お客さまの好みによってどんな柄でも使います。特に祝いの日のドレスには、大柄のもよりの華やかな色合いを好む人が多いです。赤と黒の色の組合せ、黄色と黒の組み合わせ、タンザニア国旗4色（黒・緑・青）も人気です。

最近の若者の日常ファッションでは、あまり華やかすぎないクールカラーが人気。青、緑、グレー、赤などに黒をまぜてトーンダウンしたスタイリッシュなモダンカラーが流行っています。



・清山さん

Q:布のデザインのモチーフで伝統的な柄や色がありますか？利用が制限される柄がありますか？家庭や住む地域、世代の違いから生まれるオリジナルな柄がありますか？

A:タンザニアの国旗使われている黒、緑、青、黄色の4色が伝統的なタンザニアを象徴するカラーです。各色の意味は以下の通りで、

黒：タンザニアの人々

緑：アフリカの大地や自然

青：インド洋の青い海

黄：豊かな鉱物資源・富

この色に加えて、赤も伝統的な色として好まれます。モチーフは自然をテーマとしたもので、木や花、果物、動物などの図柄が伝統的なデザインです。

伝統的にタンザニアの村の首長は、全身真っ黒な服を着ていました。また、マサイの人たちはマサイシュカと

呼ばれる特別な布を使い、マサイの首長は全身真っ赤なマサイシュカをまとっています。

・平田さん

Q：布やファッションデザイン、現地で人気のスタイルを教えてください。

A：タンザニアにはアラブ系、インド系、中東系、ヨーロッパ系など多国籍の人が多様性のなかでいっしょに暮しています。国籍や民族によっても好みはいろいろで一般化は難しいですが、傾向としてタンザニア人は、袖があるデザインのドレスを作ります。ヘッドターバンをドレスと同じ柄で注文する人もいます。ムスリムの女性はスカーフを被るのでヘッドターバン巻くことが多いですが、タンザニアの女性たちはヘアースタイルをみせるのが好きで、つくっても被らないこともあります。

・宮田さん

Q：タンザニアの生地の特徴、ユニークな点、お気に入りのポイントを教えてください。

A：それぞれの生地の特徴（カンガ、キデンゲ、パーニュ、バティック）はスライドで回答しました。

・新井田さん

Q：アフリカの布の柄合わせは難しい場合もありますか？コツなどありますか？

A：柄合わせにコツはなく、毎回ちがう困難さがあります。そのつど対応して完成させていきます。

マリアナさん、友美さん、タンザニアから、楽しい時間をありがとうございました！

**SDGsの12番目は「責任をもって使う」です。「だれが、どう作ったのか」「だれが、どう売っているか」**  
**そうした背景を知ることは、私たちがものへの愛着を深め、長く使い続けていくことにつながるのではないかと**  
**と思っています。本日の講座が、みなさまの「理解の一助」になっていれば幸いです。**

このあと希望者のみ15分間のフリートーク時間を設けました。講座のなかで質問できなかったことや布の説明など、参加者とスタッフで和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

### 参加者特典

参加者特典1として、参加者全員に、タンザニアの生産者が手づくりした「バティック布のマルシェバック」を送付しました。「タンザニア・アフリカで生産された布」が購入できる特典2では、36点もの購入がありました。参加者のみなさん、ご協力ありがとうございました！



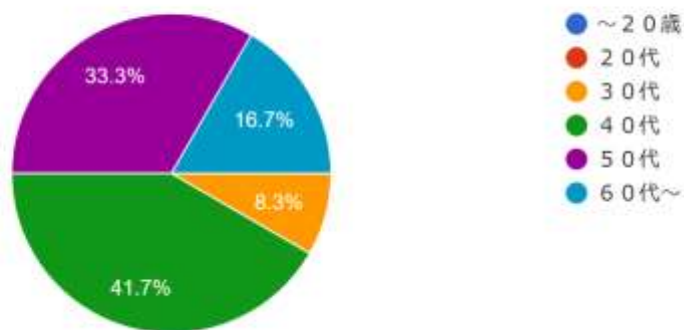




## 参加者アンケート回答

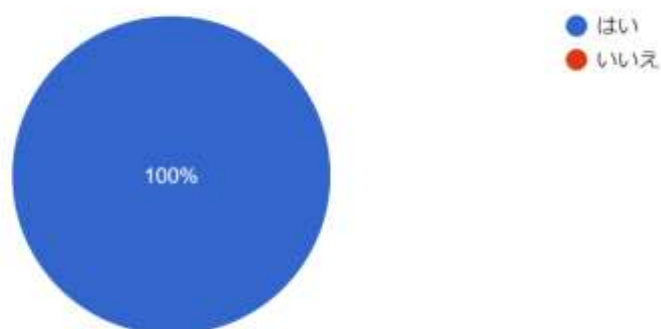
あなたの年代をお答えください。

12 件の回答



当日のワークショップ、原画送付など、企画を楽しめましたか？

12 件の回答



上記解答(楽しめたかどうかに関して)の理由をお聞かせください。

買い付けの様子やライブでの着付けが面白かったです

バックはまだ届いていないが、作り方等を見てどんなのが届くのか楽しみにになりました。

マルシェバッグの特典がうれしかったです。

バティックを作っているところや街並みも楽しめた

素敵なエコバッグでした。

現地からのライブ配信、時々聞こえる鳥さんの声？を含め、楽しめました。 マルシェバッグとリーフレットの送付もありがとうございました。

事前にマルシェバッグを送付してくださったことで布の実物が手元にあるため、ろうけつ染めや縫製のビデオから伝わるものが、想像のみに頼ることなくリアルに感じられたから。

現地の様子が見られて楽しかったです

実物も送っていただき、楽しかったです。

そのほか、ご意見、感想がありましたらお願いします。

タンザニアからの中継でマイクが遠かったので、改善されると良いと思いました。

ありがとうございました。楽しかったです。今回メールから直接ズームに参加出来るようになっていて簡単だったのですが、パソコンで参加したかったので、ID も表示して頂きたかったです。ズームも使いなれてくればアクション？やチャットも出来るのですが、見るのが精一杯でした。でも今後も参加したいです。

とてもよかったので、1時間+αでは時間が短く感じられた。特に、通訳を必要とするやり取りの場合には、時間がかかるので、1.5時間～2時間あるといいのではないのでしょうか。

チャットなどを活用して、質問ができるとよいと思います

初参加でしたが、大変楽しめました。今回、アフリカ布を購入した方々の利用方法等、教えていただきたいです。インテリアで利用等、詳細を！

どうもありがとうございました。どうぞ頑張ってください

楽しくとてもためになりました。Asante sana♪

【感想】 タンザニアの布について何の知識もありませんでしたが、分類や日本との関係の歴史といった分かり易いご説明に続き、柄や色の使い分けから現状や課題まで、これからも興味関心をもって接していこうと思うような内容でした。1時間とは思えない充実した内容で本当に参加して良かったです。有難うございました。

【製品について】 送付いただいたマルシェバッグはパイピングもしっかりされていますし、縫い直した跡からきちんと製品チェックがなされていることを感じました。 ラップトップケースは、布を袋状にして緩衝材にコットンを詰めたものがあるといいなと思いました（現在使用中のベトナムで購入したものがそのような仕様で気に入っているため個人的な希望です）。

いつもいろいろなテーマを大変ありがとうございます。

今後のセミナー・講座、ワークショップで取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください。

アフリカ布を使ったファッションやアレンジ方法

アフリカ布はまたやってほしいです。アフリカ音楽（古典的なものからアフロビート等最近のもの）料理を楽しみにしています

次回のアフリカ料理セミナーも興味があります。あとは植物やコーヒー、紅茶、ルイボスティーにも興味があります。

引き続き、五感で楽しめるテーマを希望します。 本日のように、マルシェバッグで手触りを楽しめるものや、スパイスやアロマで、香りを楽しめるものなど。

マコンデ彫刻